

中央大学学会 第19号 49年白門会会報

発行日 平成21年12月5日
 発行人 山崎厚太
 発行所 中央大学学会49年白門会
 印刷所 (有)東光美術印刷

東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学駿河台記念館学会事務局

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

※メールアドレスの登録・変更は

hakumon@gray.plala.or.jp にご連絡ください。

49年白門会10周年のホームページ <http://it.saloon.jp/lab/hakumon49/>

CONTENTS

- 1ページ ★「ラジオ深夜便」に乗って 葛西聖司
- 2ページ ★2009年創設10周年記念総会報告
- 3ページ ★2009年創設10周年記念総会報告
- 4ページ ★会員からのエッセー
- 5ページ ★事業部掲示板 (新年会・神田明神と湯島天神梅祭り)
- 6ページ ★楽苦我喜 大岡巖 ★業界こぼなし 黒木兼一郎
- 7ページ ★友へのメッセージ 日高晃
- ★49同期ゴルフ会奮闘記 高木一成
- 8ページ ★納涼ビアパーティー報告 石川晶雄
- ★ホームカミングデー報告 藤本真也 ★編集後記



(題字・葛西聖司)



「ラジオ深夜便」に乗って

49年白門会副会長 葛西 聖司

総なめたのは「北の宿から」。売上枚数で未だに抜かれていないのが「およげたいやま君」。ピンクレディや百恵ちゃんもいた歌謡曲全盛期。「そんな年、あなたはなにをしてみましたか？」と呼びかける。もちろん。わたしは初任地、鳥取での暮らしか、ロックード事件やオリンピックなど世相を交えて語りかける。

一晩中、聞く人もいる。わたしは、おかしなことをいふ癖があるものだから「夜中に声をあげて久しぶりで笑いました」などと便りがくると、眠れなくさせてしまったかな？ と思う反面、「夜中の楽しみができました」という文字に嬉しくなる。

医療関係者、運送業など、同じ時間帯に働いているという連帯感で聞いている人もいる。仕事の邪魔にならない午前2時の「ロマンチックコンサート」はナット・キング・コールやシャノンに反響がある。この2時にわたしは「おやつ」を食べる。八つ時は一日に二回あるからだ。わざとマイクの前で音を立てて食べる。「せんべい」「かりんとう」「クッキー」と素朴なものだが「マコロン」には懐かしいとファンのお便り。

「夜中にお腹空いて困った」「うつつうつつが音でめざめ、朝まで聞いてしまった」聞く人の息遣いまで教えてもらってる。

午前1時はアンカーコーナーといい、担当者のカラーが出せる。わたしは「名人達人」その声その響きとなづけ、主に邦楽や伝統芸能で活躍する人の演奏や人生話をうかがっている。12月は49会のゲストにも招いた女優・浅香晃代さん。1月11日、浅草の初芝居千秋楽で「暎の母」が3434回を迎えるという。もちろん34(みつよ)は49会メンバーならご存知のはず。

1月は端唄の神田福丸さん。正月らしい曲も生で歌ってもらうつもり。「神田節」でも中が大が出ているのはバンカラ学生歌。端唄は「芝で生まれ神田で育ち」と粋だ。

水俣や高知のリポーターと話したり、パリやソウルからも生電話をつなぐ。これは11時台、0時台。モスクワの安藤真理さんの笑い声は大陸を超えてきているんだと実感。

夜明けまで仕事をして帰宅する飲食店の夫婦は4時台の「このころの時代」を聞いてから就寝するところ。世代、職業さまざまなかれ方。なんと深夜はぐっすり寝て、全部録音し日中に聞いているという恐ろしいマニアもいる。

わたしの担当は月にたった2回だが、放送は毎晩11時20分から、祝日も正月も休みなく「深夜便」は走り続けている。

この番組を担当して三度目の正月を迎える。仕事柄、ニュースなどを伝える泊まり勤務という運行業務は30年以上経験してきたから徹夜はごくあたりまえなのだが、6時間しゃべり続けるというのは初体験。そのおかげで、この時間帯でさまざまに暮らしている人が身近に感じられるようになった。

病院では眠れないのでイヤフォンつけて、あるいは仕事をしながら、また夜中にお目覚めて、2時までと決めていきます。などなど。歌手、中島みゆきさんはコンサートのあとクールダウンするため照明を落として聞いてへれているところ。

9時には床に入って3時に目覚ましを鳴らし「日本の歌、このころの歌」を楽しみにしている人もいる。たとえば昭和51年のヒット曲。賞を

創設10周年・卒業35周年!! 総会・懇親会・トークショー!!

7月4日の49会創設10周年記念総会に60名の会員が集合。女優・浅香光代さんのトークショーはさみ、総会・懇親会と大いに盛り上がった。中大を卒業して35周年。「アラカン」世代の会員は若かりし学生時代に戻り、土曜の午後を楽しんだ!!

■第1号議案

2008年度事業活動

- 1・2008年5月31日(土)
横浜中華街「買い物・食事の会」
(横浜中華街：出席者数7名)
- 2・2008年7月5日(土)
中央大学49年白門会2008年
総会・懇親会パーティー
(中央大学理学部校舎：出席者数24名)
- 3・2008年8月2日(土)
納涼ビアパーティー(ビヤホールラ
イオン銀座七丁目店：出席者数8名)
- 4・2008年10月26日(日)
第19回中央大学ホームカミングデー参加
(中央大学多摩校舎：出席者数25名)
- 5・2008年12月6日(土)
ボウリング大会兼懇親会
(新宿ミラノボウル：出席者数8名)
- 6・2009年1月31日(土)
中央大学49年白門会2009年新年会
(銀座レストランミ本店：出席者数30名)
- 7・中央大学49年白門会会報の発行
第16号・2008年6月5日(木)
第17号・2008年12月17日(水)
- 8・中央大学49年白門会役員会活動
第41回・2008年4月3日(木)
第42回・2008年6月5日(木)

■第2号議案

2008年度収支決算書

(2008年4月1日～2009年3月31日)

〈収入の部〉 (単位 円)	
費目	決算額
会費収入	282,000
懇親会収入	299,000
雑収入	154,547
前年度繰越金	1,093,036
収入の部合計	1,828,583

〈支出の部〉	
費目	決算額
通信費	44,818
事業費	219,979
事務費	10,500
懇親会費	290,970
交際接待費	154,719
雑費	48,811
次年度繰越金	1,058,786
支出の部合計	1,828,583

■第3号議案

2009年度事業計画

- 1・「中央大学49年白門会」事業計画基本について
会員相互の親睦・交流、会の組織強化、中央大学および学員会他支部と

- 第43回・2008年7月16日(水)
- 第44回・2008年8月27日(水)
- 第45回・2008年10月22日(水)
- 第46回・2008年12月17日(水)
- 第47回・2009年1月14日(水)
- 第48回・2009年2月18日(水)
- 9・中央大学49年白門会10周年事業部会活動
 - 第1回・2008年8月5日(火)
 - 第2回・2008年9月25日(木)
 - 第3回・2009年2月4日(水)
 - 第4回・2009年2月21日(土)
 - 第5回・2009年2月25日(水)
 - 第6回・2009年3月11日(水)

総会

7月の第一土曜日の4日、平日は証券マンや金融関係者で賑わう「兜町」の一角にある「鉄鋼会館」で49年白門会の総会・懇親会が開かれた。今回は中央大学卒業35周年、支部設立10周年という記念総会なので、1年近く前から役員が企画を出し合い、今日のために準備してきた。梅雨の晴れ間で蒸し暑くもないなか、役員たちは12時に集合。7階の2つの部屋を使い、総会と懇親会は取り行なわれました。

今回は10周年ということもあり、東京近県の会員以外の卒業生1千人にも案内状を春から3回出して参加を促してきた結果、設立時と同じ60人近くが参加する総会となりました。午後1時から始まり、議長は大竹広報部長を選出し、3つの議案は全員の拍手で承認されました。

トークショー

記念総会の目玉企画「浅香光代 vs 葛西聖司トークショー」が始まりました。約3分間の浅香光代さんの紹介ビデオ



デオが終了すると、浅香さんがさっそうと手を振りながら登壇。手作りだという白いフリルのついたシャツに白いパンタロン。用意された椅子には座らず、演壇の前でしゃべりだす浅香さん。着席を促す葛西さんに「私は何時も立っているの。2時間くらい平気よ」と一度は着席するが、途中何度も立ちあがって話をするパワーに我ら同期はタツタツ。「私は光代(34)だから34歳」という浅香さん。実は現在81歳というサバを読んでいる年齢と78歳という本当の年齢があるという。これは14歳で座長になったため歳を多くして活動したためという。でも78歳には全然見えない。「アラカン世代」の我々よりも若く見えるし、演劇で鍛えた張り





のあるよく通る声でマイク不要だった。演劇という観客の入りをもつに於ける座長の立場で、前進し続けてこられたお話をしていた。『チラリズム』は鶴見の劇場で明日から来なくていい、といわれて必死の思いでやったら観客がどよめき、その後出演依頼が続いたという。浅香さんだからジョークを交えて言える芸能界のいじめや、天皇陛下を呼びとめた話、大学で教えている学生にバツサリ苦言を呈する話、1千万円のダイヤの話など予定の1時間半は

懇親会

あつという間に過ぎてしまった。最後に「隣の母」と「本刀土俵入り」の最後のきめのセリフを演じていただいた。会場からは「浅香」の掛け声も飛ぶ盛況。終了後、浅香さんにも入っていた記念写真を撮る。60人を4段で並んでもらいプロのカメラマンが激写。(左上の写真)

3時から懇親会。ご夫人同伴も4組、今日から会員になった人が6名、会員だったが今回が初参加という人が2名とフレッシュな顔ぶれとなった。司会は葛西さんで山崎会長の挨拶の後、盛岡から出席された吉江さん(商)の乾杯の発声で懇親会がスタート。浅香さんも参加され10名に色紙のプレゼントがあった。色紙にプロマイド写真が張り付けてあり、日付とサイン、当選者の名前と言葉が添えられていた。因みに最後の当選者になった人の色紙には「花は赤いうち、心は熱いうち」という言葉が記されていた。

宮崎から出席された黒木さん(商)から幻の焼酎「百年の孤独」と「金霧島」を差し入れていただいたが、瞬く間に飲み干されてしまった。30分で浅香さんが退席され、今回の目玉企画第2弾「学生時代の思い出の事件・歌のベストテン」が葛西さんとカメラマンの高橋さん(法)の息の合った司会と映像で進行した。これは4月に10周年記念総会の

第1回目の案内状を出した時にアンケートを取り、その結果を集計したものの。その発表に先立ち、学生時代の大学の建物などが映し出されると、会場からは懐かしいという声が出ていました。さて事件のベストテンは、「70年安保」「札幌オリンピック」「日中国交回復」に始まり、3位「よど号ハインツァック」、2位「浅間山狂事件」と続き、1位は「三島由紀夫割腹自殺」という結果でした。それぞれの写真が映し出されるとあちこちであの時の思い出の声飛び交っていました。



そして歌のベストテンは、青い三角定規の「太陽がくれた季節」、ちあきなおみの「喝采」、藤圭子「圭子の夢は夜ひらく」、由紀さおり「手紙」と続き、3位に加藤登紀子「知床旅情」、2位にカロ「学生街の喫茶店」、1位が南こうせつとかぐや



姫の「神田川」という結果が発表されました。曲を流すとマイクを取って歌いだす人もいて、会場はほとんどの曲に口ずさんでいる人が多かった。その後、6名の会員の学生時代の写真が映し出され、会場は現在の姿とのギャップに驚きと笑いに包まれました。

この記念総会には、カメラマンの高橋さんの事務所からプロのカメラマンに来ていただき、受付から総会、トークショー、懇親会を5時間におたり撮影をしていただいた。300カット以上撮った中からセレクトして、ベストテンや大学の建物、校歌なども取りこんだCDを作り2千円で配付し、全額125周年基金に49年白門会の名で寄付することになった。購入希望者を募ったら殆どの人に希望していただいた。

歌舞伎、映画、落語などから心に残るセリフを語る。

ことばの切っ先

心にせまるセリフ

葛西聖司 (NHKアナウンサー) 著 菊地ひと美 絵

古典芸能番組に携わってきた著者が、虚構の世界で語られるセリフの魅力を解き明かす。

小学館 ●定価1,890円(税込) 好評発売中!

4-09-387646-0

お開きの5時近くに恒例の校歌と応援歌を小澤さん(経済)のリードで歌い、音量たっぷりのエール交換でお開きとなった。懇親会のお土産は「49年白門会」の会報を1号から18号までそろえて製本したものが出席者に配られた。10年間の歴史がよくわかる素晴らしいものだった。梅雨の晴れ間で太陽が出ていてまだまだ明るい5時過ぎ。通りは閑散としているが次会の希望者18名が開いてる居酒屋を求めて界限をさまよい「紅とん」という居酒屋にたどりの着き、7時過ぎまで友好を温めた。それでもまだ明るい夏の土曜日でした。(広報部)

会員からの
エッセー

「私とお酒」を語る

飲酒歴40年を迎えんとする会員の皆様の「酒」にまつわるサケられない思い出。酒は敵だ、味方だ、薬だ、毒だとかしましい。でもこの歳になってみて皆さんお酒とどう向き合っているみたいですか。今夜も一杯やりませんか。

酒は我が良き友!

谷治 博史 (法) 東京都 調布市

酒は飲みだして早40年が経過しても、今でも週に数回は必ず会う友だ。時には悪友になることがあるが、私の人生の中では概ね良き友である。考えてみれば高校生以前からの付き合いのある友もいるが、現時点で週2回以上会う友がいるかと言えは、いないと答えるであろう。特に30数年間のサラリーマン生活においては、日本という独特の商売上の付き合いや日々の愚痴? を云い、ストレスを解消する仲間との会話の場には、必ずその友はいる。

学生時代にいた友は、ビールか日本酒、20歳の頃はジンや安いウイスキー、サラリーマン時代前半はビール中心も後半は焼酎中心とその形を変えてきた友である。厄年の時に大病をして手術をした関係で3ヶ月会わなかった以外は長期に会わなかったことのない友でもある。

サラリーマン生活にヒリオドを打った後も昔の職場時代の仲間から誘われるのも君を介してであり、今夏に行政書士・マンション管理工事

務所を開設して自由業になった今、いろいろな研修会へ出席の後の懇親会で人脈作りができていられるのも君のおかげです。

この先ドクターストップがかかったとしても完全に君と別れることはできないと思うし、そのためにも健康を保つ一因として、永遠の友として付き合ってもらおうべく、体調管理をしっかりして健康を維持したいと正直思っている。

敵と暮らして40年

田仲 正道 (法) 千葉県 市原市

蜀山人の言葉に「世の中は酒と女が敵なり」とうか敵に巡り合いたい」とあります。私の中大生活は、この敵との出会いから始まりました。入学直後、お茶の水駅のベンチで酔い潰れ、本郷の見知らぬアパートの空室で寝ていたこともありまして。4年生の時に行われた多摩キャンパスまでの50キロナイトハイイクで気付け薬に持参した一升瓶を歩きながら飲み干したことも思い出されます。卒業後も、この敵とは離れられずに過ごしています。

周囲からは「大吟醸の田仲さん」と呼ばれております。ここ20年は「八海山の吟醸」を一番の敵にしています。この敵を飲み続けていると色々な場面に遭遇します。千葉の某割烹では仲居さん達が、安い会費の宴会でも条件反射で「本一万円の八海山の吟醸4合瓶を私の席に出します。幹事に心配を掛けられないので現金と引き換えて飲んでいきます。石川の酒に誇りをもちの金沢の料理屋では、私の到着前に仲居さん4人が自転車で行く八海山を探しに出てくれました。

敵を更に知る為に来年、雪が溶けたら八海山の山頂で敵の「大吟醸」をやっつけようと思っています。今年の5月に煙草を止めました。今年5月の煙草を止めました。今年5月の煙草を止めました。今年5月の煙草を止めました。

酒が寡黙な私の性格を変えた

菅原 守 (経) 神奈川県 横浜

酒ねえ、飲むよ毎日。そうだねえ飲み始めは、やはりビール。先ず瓶

2本空けて、次に焼酎かな。焼酎は水割り。本当はお湯割が好き。ウーロン茶とか緑茶で割る事は滅多にしない。何というか、酒でも何でも混ぜるのは好きじゃない。カクテルは少しは口にするけどでも余計飲めない。とにかくガブガブ飲んでしまつのがいい。だから日本酒は油断できません。ガブガブ飲んでしまつて、酔っ払ったら、もう大変。天動説を証明するようなものです。うまくして目が覚めたとしても、身体が重く動かないなんてのは性格に合わない。目が覚めたらパッと起きる。これがいい。目が開いても頭がモヤモヤ、身体はフラフラ、息をするのもフワフワでんでは完全に飲みすぎだね。

そこで飲む量の話に移るけど、まあそうだね適量は、ビール1、2本と焼酎水割り2杯位かな。その位でいい気持ちになるよ。つまみは少しでもいいね。よく口にするのは焼き鳥だけ。魚の刺身や野菜の漬物がいい。ああ魚や野菜の煮物もいいよ。同級生はサンマを煮て食べますか。やはり焼きますか。焼いたサンマは冷めると焼きたてのようではないでしよ。ところが煮たサンマは冷めてもいいよ。

最後になるけど、酒は嫌いじゃないけどやや好きという程度なの。本当は酒よりおしゃべりの方が余り好きだね。話すにはいろいろな話がある。話すのに酒があると話しやすい。そうだと酒のつまみよりも気立てのいい女性とおしゃべりできたら、もう言うことなし。アデオス

酒にまつわる話

萩原 紀行 (法) 東京都 三鷹市

お酒の付き合いが始まったのは大学に入学してからだ。当時は、今のようないくつかの焼酎ブームではなく、コンパでサントリーウイスキーを飲んでいった。専ら、レッドとか白がほとんどで、オールドなど高級品で、めったに飲む機会はなかった。またその当時は、飲み方もよく分からず、飲む機会も少なく、ただ、ただ量を多く飲んだ。今思い出しても恥ずかしいが、友人に肩を抱きかかえられて帰った記憶が多く残っている。

大学を卒業して損害保険会社に入社してからは飲む機会が俄然多くなった。会議の後の懇親会、部活動のノミネーション、接待、今日は雨が降ったから、今日は残業したから等理由は後からいろいろでもつけられた。

ただ、学生時代と違い回数が増えた分、酒量は減ってきた。年齢とともに翌日身体がもたなくなってきたのと、少し大人になったせいかもしれない。酒による失敗は数多くある。

札幌勤務時代に大事な商談前日に飲みすぎて約束の時間に遅刻、群馬勤務時代に大事な接待の時に飲みすぎて寝てしまい、当時の支店長に叱られ恥ずかしい思いをした。まだまだあるが恥ずかしくて書けない。

亡父も酒が好きだった。平日は毎日酒を飲んで、夜遅く帰宅することが多かった。酔っ払って駅の階段から転げ落ち入院までしていた。今振り返ると私も亡父と同じ事をしてきたような気がする。

定年後のサラリーマンにアルコール依存症が増えているとのこと。酒はゴルフやマージャンと違いメンパーを集めずに一人で出来、更に天気や曜日や時間も気にせず出来る楽しみだからだと思う。

私は今も毎日晩酌をしている。現役のサラリーマン時代と違い、外で飲むのは週に一回くらいで、愚妻と家で気楽に飲むことが多くなった。古来より云われるように「適度の酒は百薬の長」を信じ、今後とも未永くお付き合いしていきたい。

飲酒変遷暦

丸山 秀平(法) 東京都小平市

学生時代に飲んでいたのは、専らウイスキーであった。その当時の定番のおつまみ、あたりめかオニオンスライスでレッドかホワイトのロックで顔を赤く眼を虚ろにしながら、新宿あたりを彷徨っていた。学生時代が終わってもそのまま大学に残っていたので、学生気分は変わらず、酒だけは日本酒が主流となった。場所も浅草近辺に移り、銘柄は菊正か剣菱。指導教授から教えて頂いた浦霞の旨さに目覚めたもの頃である。

30代、留学でドイツに行ったらビールと安いワインの毎日。手っ取り早く酔うためにはシュナプスという蒸留酒のお世話になった。「おしん」のテレビも見られずに日本に帰ってきたら、なぜか第一次焼酎ブームで、学生さんとのコンパではチューハイばかり。暫く抵抗していたが、ブームには抗えず、密かにカールピス耐ハイなどを試みる。「でもね、40代からはやはり日本酒ですね」といつつ、第二次焼酎ブームの名残で缶酎ハイも度々購買。爾来健康診断の前の定期的かつ極めて短期的な断酒を間に挟みつつ今日に至る。

体力と気力そして財力の消耗を防ぐために、嗜む場所も自宅内部やその近辺となってきた。やはり「全体の流れは日本酒か」と思う。最近の好みは、八海山や久保田。過日出張の折りに試みた沖繩の泡盛・古酒もなかなかであった。「でも何時まで元気で飲めるのであろうか」悩みなから今宵も杯に手を伸ばす。

転勤先に名酒あり

横川 博(法) 千葉県船橋市

お酒と肴に纏わる35年間の転勤人生を振り返ってみたい。剣道部所属の学生時代、地下道場での練習を終え、明大裏のお酒屋さん前で部員と兵に缶詰をつまみにビールで水分補給をしたのがお酒と

の長い付き合いの始まり。社会人第一歩は奥飛騨神岡の鉱山町。職場歓迎会で岩魚の骨酒の大喜を回し飲むルールを知らず一人で飲み乾し、上司と地元の方が嘩然としていた様子が今でも思い浮かぶ。

次の勤務地は福井県九頭竜ダム近郊の鉱山。わらび、ぜんまい、ゴゴミ等の山菜を肴に越前のお酒を飲むのは山奥生活の特権。特にたらの芽とフキノトウのてんぷら、つくし、茎の佃煮は酒の肴に一番。

山奥から九州福岡の大牟田へ。炭鉱町の名残かつ労務屋としての宿命で酒の付き合いが多い。芋焼酎と有明の珍味を堪能。美味としてはカツゾコ(舌平目)の煮付けが最高。次は酒どころ、広島竹原市。地酒「誠鏡」は甘口であるが、辛口好みの私でも美味しいお酒として一押し。瀬戸内でのタコ釣りに後、タコ刺しで一杯は格別。地元銘酒の「まほろし」は飲み口が良すぎるので要注

意。所変わって地球の裏側、南米ペルーのリマでは白葡萄をベースとしたピスコサワーがお薦め。セビツチェ(魚介類のマリネ)、アンティクーチョ(牛の心臓の串焼き)がつまみに一番。

帰国後、埼玉上尾、下関彦島、岡山玉野、現在居住の千葉船橋と転々とし、酒と肴に関する出会いは尽きないが、何と言っても盃を交し合った人との交流が一番の思い出。これからの人生、メタボとの戦いはあるものの、楽しくお酒と肴との付き合いを続けていきたいと思う今日この頃である。

おぼり・おぼられ

小澤 秀敏(経) 東京都府中市

入社5年目の昭和53年8月、2ヵ月間の米国研修の最終地であるシカゴに入った。そしてその晩、早速お酒を飲みながらフラリと街へ出た。店に入り一人でビールを飲んでいたら、奥の方では5、6人の男女が楽しそうにワイワイガヤガヤお酒を飲んでる。あまりにも楽しそうなので、奥のテーブルに人数分のビールを持っていくよう店の人に頼んだ。彼らはビックリしたようだったが、やがて女性が私の席にやって来て、一緒に飲むかと誘うではないか。もちろん断る理由はない。そのうち一人、二人とダンスを始めたが、見たことのないステップである。私は彼女たちに教えてもらい踊る羽目になったのだが、幸い学生時代に赤坂で鍛えた(？)足前で、なんとか誤魔化し、タタタタになるまで踊り続けた。

翌朝、シカゴからロスまで8日間の自主研修旅行(費用は会社負担)へ出発。私はカナダのバンフ経由でジャスパーへ入り、そこからバンクーバーまでの18時間列車の旅へ出た。列車に乗ると私の隣には黒いギターケースを抱えた中年男性が一人、バンクーバーへ演奏の出稼ぎへ行くところだと言う。やがてケースの中から缶ビールを取り出し飲み始めたかと思うと、私にも一本。どうとう私は5本の缶ビールを空けてしまった。次から次と魔法のようにビールが出てきたギターケース、あの中には本当にギターが入っていたのだろうか？

事業部掲示板

来年2月、バンクーバーでは冬季オリンピックが開催されるが、オリンピックのニュースの度に、あのギターケースと缶ビールを思い出すに違いない。

新年会

例年どおり「Sunmi高松」で行ないます。土曜日の午後6時、美味しい料理とお酒で友好を深めましょう。

日時 平成22年1月30日(土)

午後3時~5時

場所 Sunmi高松

東京都中央区銀座6-3-9

TEL 03-5568-3300

会費 5千円

神田明神と湯島天神梅祭り

下町の風情を残す神田・湯島。梅の花が咲きほころぶ、春の一日をぶらりと散策しませんか。

期日 平成22年3月6日(土)

詳しいお知らせはホームページに掲載します。

楽苦我喜 大岡 巖 (経済)

「指導者になって」

私が卓球選手を指導した中で一番思い出されることは、仙台育英女子卓球部を指導した時のことです。指導して2年目だったと思います、ある選手が大阪から入学して来ました。この選手は、全国中学生大会シングルで優勝した選手でした。入学後の練習が、今までの大阪の練習とはまったく違った内容で、彼女自身、卓球の方向性を見失い、限界を感じかけていた2年目のことです。自分の力も發揮できず、その年のインターハイ宮城県予選で負ければ、大阪に帰るといふ決心をしていました。私の指導方針は、「仙台育英に来てよかった」と思ってくれ、そして送り出すことでした。

「何とか最後まで仙台育英で頑張らせない、何とか予選を通過させたい」との思いがありました。予選で対戦するのは、仙台育英の仲間です。複雑な気持ちではありましたが、予選2ヶ月前から毎日1時間はこの選手につきっきり。練習終了後9時からの自主練習にも付き合ひ、全て終了するのが11時、そして寮まで車で送り1日が終わる、と言う毎日でした。この時は、なんと疲れる選手を預かったんだと。負けたら大阪に帰ると言っし練習の要求は多いし、「もう二度と大阪の選手は取らない」なんて考えたものでした。しかし、宮城県予選会では、九分九厘負けている試合を逆転勝利し予選を通過、そしてその年のインターハイでは決勝まで進出する活躍をしました。その後、高校3年の最終学年では世界選手権大会の日本代表になり、日の丸をつけ活躍しました。

当時は、心身とも疲労困憊でしたが、いま思うと、この選手から沢山のことを教えられたと思っています。その一つは、「常識的な練習をやっているのは、普通の選手しかならない、非常識な常識と思えるような練習をやる選手が最後に勝つ」ということです。

もう二度と大阪の選手は取らない、この選手とは卒業したらかわりは持たない、なんて思っていました。今では、卒業生の中で一番多く連絡をくれ、OGをしっかりとまとめてくれる、かわいいお母さんになっています。選手から多くのことを教わり、それを経験として今も指導しております。(日本卓球協会ジュニアナショナルチーム女子監督)



皆さんこんにちは、9月の終わりに、日南市で葛西さんのトークショーがあり、妻と職に行きました。新「日南市」誕生記念、NHK「ラジオ深夜便」のつどいの公開録音でした。大阪や佐世保などからの追っかけも多く、入場券が手に入りにくく葛西さんの人気のすごさにびっくりしました。そしてそんな人が同級生になることが、誇らしく思えました。

ところで、税金の話は、面白いものではないませんが、税金は物事が起こった後で付いてきますので、税金がかかる方は、できれば事前準備がよろしいでしょう。

しかし、税金のために意に沿わないことをしては後で後悔します。特に、相続で最も大事なことは、親が残してくれたものを、残された相続人が仲良く話し合っって、そして少しずつ我慢すれば、分割協議もうまく進み、ご先祖様も草葉の陰で安心されると思えます。

現行法では、相続人が3人いれば控除額は、5千万円＋1千万円×3人で8千万円になりますので田舎に住む

還暦を迎えた会員もいると思います。相続と税金の問題で、退職後の生活に漠然とした不安を感じているかもしれません。これからの生活にいやおうなしに関わってくる相続と税金について、税理士の黒木さんにお聞きしました。

税理士 黒木兼一郎(商)

相続税と退職後の税金のお話

私には十分です。しかし、都会では土地の価格が高いため税金が多くかかるようになっていたら、税理士に依頼することを勧めます。土地は評価で課税しますが、評価は通達事項が多いため相続税に詳しい税理士に依頼した方がよいからです。料金よりも相当税金が安くなるはずです。

感謝される贈与の方法

わが子供たちに早めに贈与したいと思う方は、相続時精算課税を利用してもよいでしょう。特に値上がりしやすい土地は早目が良いでしょう。贈与時の評価で計算を行い、相続時に精算するので値上がり分の税金が助かります。ただしこの手続きを利用すると、将来年100万円の贈与の暦年控除は使えなくなります。相続時精算課税は、親から子への贈与で2千5百万円までは税金がかかりません。また、親、祖父母からの住宅資金の贈与は、5百万円まで非課税です。

次に愛する妻や夫に自宅を贈与する場合には、結婚20年以上たっていたら2千万円まで税金がかかりません。

TEL 090-9999-5111-0000

友へのメッセージ

友へ 宮崎からのメッセージ

日高 晃(経)

いよいよ「サロン・ミュージック・フェスティバル2009」の開幕だ。10月31日より12月21日までジャズ・クラシックなどのコンサートや8回行うもので、世界で活躍するアーティストを招き、宮崎の若いミュージシャンや観客との交流を通じて、心豊かな文化的なまちづくりをすすめていきたいという想いから、今年で30回目を迎えた。

3年前に新店舗を構え、店内の2階サロンにイスを置くこと100席から無理して130席ほどあるスペースがあるため、市民に育てていただいたお店ですからそのお返しをしたいと思います。仲間であるMAMA(宮崎アート&ミュージック協会)やNPOと相談して企画を立ててみました。それは、アートを市民にもっと身近なものにしていくって、暮らしのなかに溶け込ませ「街の文化」を市民が自主的に取り組んで活動して育てていくというものでした。それでタイトルは「アートフェスティバル」と名づけられました。

具体的には、「まちはシアター、まちがミュージアム」というテーマ

で、通りを舞台にして「カブラで遊ぼう」、「街にバルーンの花が咲く」などといった、まちを子供(未来)たちに開放しプレイパークにして、「遊」を通じて3世代が交わり、「遊」を通じて3世代が交わり、心がかよひ合い楽しめるファミリーイベントを実施しました。そこから見えたもの、そこに住んでいる人々の絆、連帯感、豊かなまちの表情がありました。その他の会場では「映画祭」、「グラフィックデザイン展」、当店の2階では8回「コンサート」といった内容で展開しました。

特にコンサートホールではないため、演奏家には大変失礼かなと思いつつも、著名な演奏家ほど音楽の裾野を広げる必要性を感じておられて非常に協力的で、こうした取り組みを積極的に支えてくれるところとなり、宮崎においてコンサートホールでなくてもそれなりに中間的な役割・位置づけが確立できました。

また、地元のケーブルテレビも4つコンサートをそれぞれ収録して2時間番組として製作、2ヶ月間80回も放映してくれました。おかげさまでそのことにより、広く市民の知るところとなり、大きな反響を呼びました。コンサート会場では、演奏家の息づかいやいろいろな豊かな表情が



間近に見え、耳ではなく体毛が震えからで感じて聴く、観客のみんながSS席という贅沢な120席前後の室内楽がそこにはありました。演奏家自身から楽器の説明があり、その楽器が200年前に作られたものとか、その楽器と自分との係わり合いなどの小話が途中入り、観客にとってなお一層興味を引くところとなり、演奏家との距離感がほとんどなくなり、観客と一体となってコンサートは完成していくのだ、と確信できたのは大きな成果でもありました。

最後に「スイスの時計メーカーである「ブラー」社のメッセナ芸術活動支援により実現できたことに感謝します。

49同期GOLF会奮闘記

2009年 9月12日(土) 高木一成(理工)

ことしの新年会で49同期GOLF会を提案し、第一回大会を5月30日に開催することができた。このたび第二回目を開催することができ、今回は特に地域対抗口合戦の様相を呈する内容であったのでその奮闘記を報告します。

※会場 飯能パークカントリー(埼玉県)
 ※参加者 荻原紀行(岡山県代表)
 大竹力三(新潟県代表) 黒木兼一郎(宮崎県代表) 高木一成(福岡県代表)

この日のためにはばる宮崎より出陣いただいた黒木選手(他は会場近辺在住)の執念が実り、朝方までの雨も上がり、ますますの天候に恵まれスタートすることができた。

第1ホールは広々としたロングコースであり、大竹、荻原の両豪腕が炸裂し、九州勢としても負けられじとしながらも少々抑えた軽やかショットでスタート。2・3ホール過ぎるとそれぞれのプレースタイルが判明し、黙ってプレーすることができなくなり口合戦が勃発。豪快なるも少々荒っぽい本州組に比べ、しなやかさをキープする九州組にリズムが出てきて、宮崎代表にバーディーが連発。さすがの福岡代表も本州組に加わり、足を引っ張ろうと駄洒落、口書を発するも、宮崎代表は動ぜず、上がってみれば大変なス

コアであった。本人曰く「やはり白門同期はいい仲間だな、何を言っても何を言われても嬉しいな」

スコアの詳細は個人情報保護の精神を持って左記のみの報告と致します。

80台前半、90台前半、90台後半、110台前半が各1名。

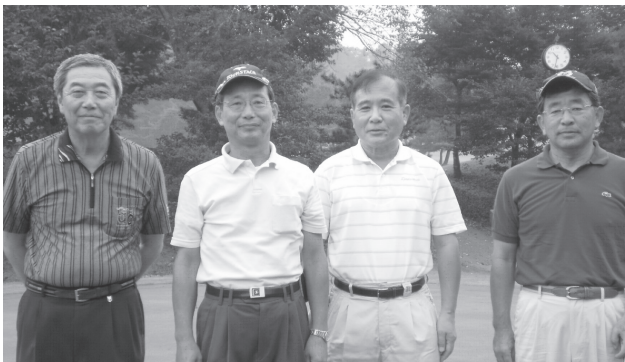
次回開催の法定事項

※開催予定日 平成22年3月末の土曜日

※会場 飯能パークカントリー

※現在登録メンバー 7名

今後は夫人同伴参加OKとし、是非とも2・3組でできるようにしたいので、皆さん奮って参加してください。



左から、荻原、高木、大竹、黒木さんです。

納涼ビアパーティー

2009年 8月1日(土) 石川鼎雄 (経済)

恵比寿駅そばにある、「恵比寿ガーデンプレイス」で納涼ビアパーティーが開かれました。新入会員の方も1名参加され、合計12名の会員が正午に恵比寿ガーデンプレイスに集合しました。

まずは「東京都写真美術館」で開催されている「世界報道写真展」「シヨルジュ・ビゴ」展、「収蔵展」「異郷へ」の入場招待券を小沢さんが人数分用意していただいたので、全員が3枚の入場券を手にも美術館に入り、約1時間鑑賞しました。

ホームカミングデー盛り上がり記

2009年 10月25日(日) 藤本真也 (法)

昨年同様あいにくの冷たい雨の中、我が「49年白門会」の突撃隊石川さん

パーティ。予約した個室は9階にあり、山崎会長の乾杯で待ちに待ったビアパーティーがスタート。ビールは勿論ご当地「エビスビール」です。蒸し暑く、1時間以上歩き回った喉にはまさに干天の慈雨。貸しきりの個室なので他の雑音も無く、全員での会話も大いに盛り上がり、ビールはピッチャーを数回お代わりし、焼酎、ウイスキーと酒量もハイピッチ。飲み放題の2時間は瞬く間に過ぎてしまいました。

また明るい3時過ぎには散会となり、花火大会に行く人や再度美術館に戻る人など、それぞれ次の目的地へ向けて別れていきました。

編集 後記

同期の活躍を 目の当たりにして

今回寄稿して頂いた大岡蔵君と日高晃君は私が見た中でよくお会いする人たちだ。「卓球王国」誌としての取材ではナショナルチームジュニア監督の大岡君は目映いぐらいの光を放っている。彼の采配、勝利を手にしたことば数知れないほど多い。現場でそのシーンを目の当たりにして同期として誇りしげにも思いつし、ある種の羨望も覚えるべきである。

会員も、座って食べたり飲んだりしながら盛り上がる事ができた。

いつの間にか気がつくくと雨が荒がっている。今年は、当日新たに入室された方や、今まで総会や新年会に参加したことなかった会員4名が49会の旗の下に集まってくれ、会員だけでも総勢24名。

今年も新潟から息子さんと一緒に参加した松平さんが、「立山」の1升瓶を差し入れ、盛り上がり火をつけてくれる。午後からは、我が49会のマドンナ・井さんが昨年も参加してくれた友人の女性と二人で参加、ますます盛り上がる。いよいよ座るところがなくなってきたので、私は座をはずしキャンパス内の山の上にある真言密教の金住稲荷に詣でてから皆のところに戻った。スウィング・クリスタル・オーケストラの演奏がちょうど終わり、応援部が校歌や応援歌を指導してくれているが、私はついつい後ろの可愛いチアリーディング部の方ばかり目が行ってしまう。

一方宮崎で日高時計店を経営する日高君は日本でも有数の経営者としてその世界では一目置かれている。毎年スイスのジュネーブやバーゼルで開催される新作フェアには必ず彼の姿を見ることができ、各メーカーのブースで商談する姿はやはり大岡君のように毅然として逞しい。自分の目を信じて新作を注文するのだが、経営者として成功している

3時頃からメインステージで福引抽選会が始まった。皆いつの間にか立ち上がり、当落に関係なく歓声を上げていく。今年は特別賞がスキ「アルト」だ！皆が狙っている。飲んでしまったので、運転して帰れ

ないよ、などというらぬ心配をしながら、当たったことをひそかに期待していたが、49会は誰も当たらない。それぞれ三角くじのはずれでもらったお菓子や飲みかけの焼酎などをかばんに入れて4時解散となる。

会費の納入についてのお願い

49年白門会は会費によって運営されています。未納入の方は、是非、会費を納めてくださるようお願いいたします。

年会費3,000円、入会金1,000円です。

なお納入方法は、下のいずれかをお選びください。

- ①郵便振替 (手数料は不要です)
振替口座番号 「00180-3-196081」
口座名称 「49年白門会」
- ②銀行振込 (振込手数料が必要です)
銀行名 三菱東京UFJ銀行日野市役所支店 普通預金「0569115」
口座名 49年白門会 代表 山崎厚太

49年白門会連絡先・事務局

※住所・勤務先変更、新規会員紹介、お問い合わせ等、何でもご連絡ください。

※年2回発行するこの会報へ、広告の出稿、詩、俳句、エッセー等の原稿、企画案、ご意見をお寄せください。

49年白門会幹事長 中島章夫
東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学員会事務局
電話 042-674-3468 (学生課) FAX 03-3219-6177

※メールアドレスの登録・変更は hakumon@gray.plala.or.jp にご連絡ください。

携帯メールアドレス登録受付中

各種ご案内メールを送り、その出欠を掲示板上でとっています。このたび掲示板を携帯対応のものにバージョンアップしました。PCのメールは使わなければ携帯メールは使うという方はぜひ左記アドレスまでご連絡ください。PCメール、携帯メール両方のアドレス登録も可能です。
49年白門会 hakumon@gray.plala.or.jp